

1-1 店POWERとは

店POWERは、商品情報や画像を利用して棚割を作成し、「棚割の分析改善」「店舗への作業指示書の発行」「プライスカード発行や自動発注システムなどへの陳列データの連携」を行ない、棚割を中心にした各業務の効率化、レベルアップするためのシステムです。

取引先システムともデータの互換性があるため、スムーズに提案を受けつつ自社主導で棚割を管理できます。

店POWERに必要なデータについて

店POWERで棚割を管理するために必要なデータの中から代表的なものを解説します。

棚割を作成するためのデータ

商品情報	JANコード、商品名、商品サイズ、原価、売価など、棚割の作成や分析に必要なデータ。
商品画像	商品の正面画像、上面画像など、棚割をビジュアルで表現するために必要なデータ。

例)

商品情報

共通商品コード	4528121123454
商品名	店パワーチップス
商品サイズ	幅：100 高：200 奥行：50
売価	150
メーカー	4528121
品種	1234567

商品画像



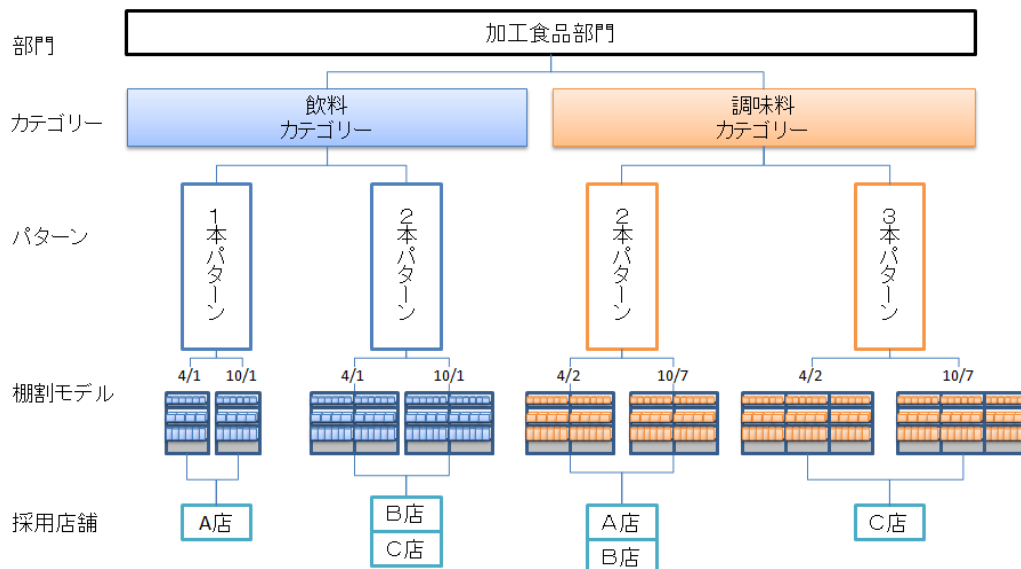
帳票作成や分析に必要なデータ

商品分類	メーカー、品種などの商品が属するグループ。商品情報と組み合わせて登録します。
売上情報	売上数量、売上金額、など。週単位や月単位の合計値。

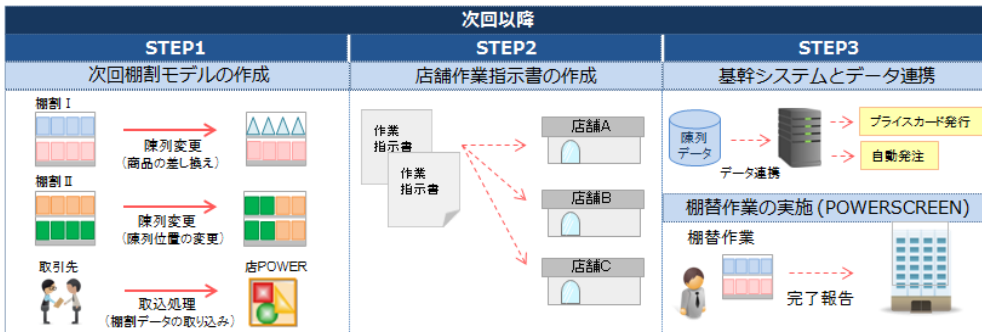
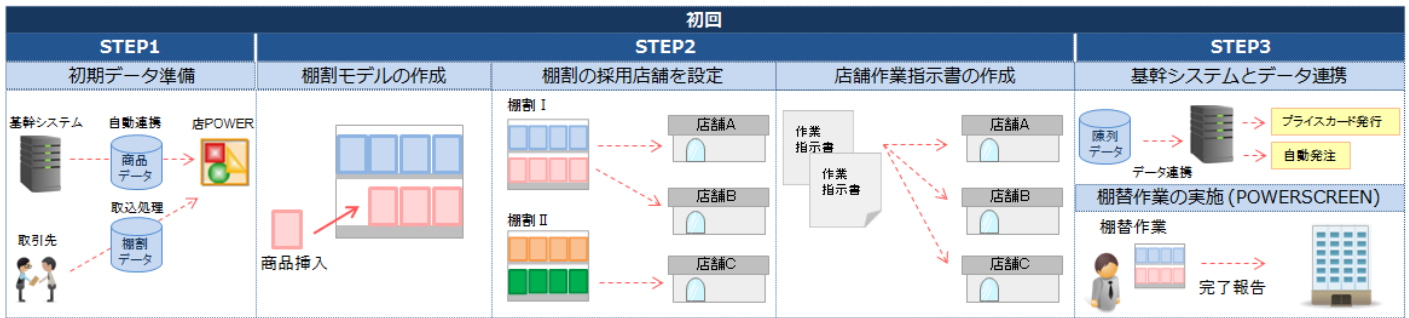
棚割モデルを管理するためのデータ

部門・カテゴリー	加工食品部門、飲料カテゴリー、などの棚割が属するグループ。
パターン	カテゴリーと階層関係にある棚割のパターン。3尺2本パターン、3本パターンなど。
棚割モデル	システム上で作成した棚割データ。(時系列で管理できます)
店舗	東京店、大阪店など。

イメージ図



運用フロー



～初回～

STEP 1：初期データ準備	
準備するデータ	登録方法
<ul style="list-style-type: none"> 商品情報、商品画像 部門、カテゴリー、パターン店舗 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹システムから自動連携 取引先から出力されたデータの取り込み 店POWER上で個別登録 データが入力されたExcelを店POWERで取り込み(一括登録)

STEP 2：棚割作成～店舗の指示書作成	
棚割モデルの作成	登録したデータを使って棚割モデルを作成します。
棚割の採用店舗を設定	作成した棚割モデルを採用店舗へ割り付けることで各店舗の陳列データが登録されます。
店舗作業指示書の作成	陳列データを活用して「棚割図」や「陳列商品一覧表」などの作業指示書を作成します。

STEP 3：陳列データの活用	
基幹システムとデータ連携	店POWERに登録された各店舗の陳列データを自社の基幹系システムと連携させて、プライスカード発行システムや自動発注システムに利用することができます。
棚替作業の実施	店POWERより出力された作業指示書を使用することでスムーズな棚替作業ができます。また、別システム「POWER SCREEN」を利用すると棚替後に完了報告が可能となり各店舗の棚替進捗状況を本部で確認することができます。

～次回以降～

STEP 1：次回棚割モデルの作成	
商品の差し換え	カット商品と追加商品を差し換えます。陳列商品変更後の陳列データを次回棚割モデルとして保存します。
陳列位置の変更	既存の棚割モデルを開き、陳列位置を変更して次回棚割モデルとして保存します。
棚割データの取り込み	取引先から受け取った棚割データを取り込み次回棚割モデルとして保存します。

STEP 2～3：作業指示書の作成～陳列データの活用	
初回時と同様の作業を実施します。(次回棚割モデルの陳列データを使用して作成された作業指示書を店舗に配信します) 「追加」や「カット」などの変更内容を示した作業指示書を作成するときには、自動で過去と未来の棚割を比較して商品をリストアップします。	

※別システム「POWER SCREEN」を利用することで、店舗作業指示書の自動作成・自動公開が可能で
※陳列データを基幹システムに連携することで基幹システム側での登録作業をなくし、作業負担を軽減します

操作画面

店POWERは、操作の目的に合わせてタブごとに機能をまとめており、直観的に操作ができます。

◆ 棚割モデル選択状況による変化

棚割モデルを開いている時と開いていない時とで表示される機能が異なります。

◇ 棚割操作タブ-棚割モデル未選択時



◇ 棚割操作タブ-棚割モデル選択時



◆ QAT (クイックアクセスツールバー) の利用

普段よく利用する機能を画面上部のQATエリアにお気に入りとして保存できます。

タブを切り替えることなく、すぐに目的の機能を選択できます。

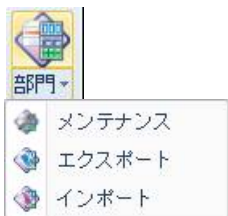


◆ スプリットボタンの利用

いくつかのボタンは、アイコンと機能名で上下に分割されています。

ボタンの下部 (文字部分) を選択すると、各機能の選択肢が表示されます。

ボタンの上部 (アイコン部分) を選択すると、各機能の選択肢の最上部の機能が直接選択されます。



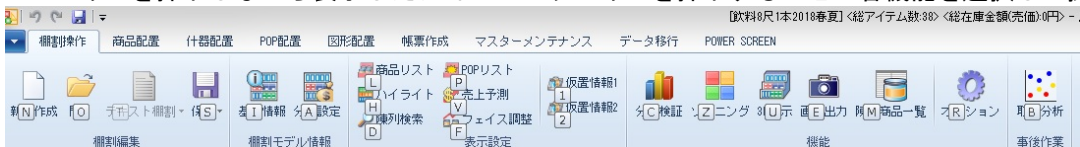
[部門]の文字部分をクリックすると「メンテナンス」「エクスポート」「インポート」の選択肢が表示され、そこから機能を選択します。

(アイコン部分をクリックすると、選択肢を経ずに直接「メンテナンス」が選択されます)

◆ ショートカットキーの活用

キーボードのAltキーもしくはF10を押下することでショートカットキーが表示されます。

Shiftキーを押下しながら表示したショートカットキーを押下することで各機能を選択して操作することも可能です。



◆ テキスト中の画面や表記について

- ・ カテゴリー (カテゴリー、売場…)、商品マスターの各分類 (メーカー、品種、…) など、企業毎に名称の変更が可能のためお使いの環境とボタン名が異なる場合があります。
- ・ コード体系や名称入力の規則は企業毎に異なるためテキストの画面ではなく自社の運用ルールに従ってください。

サポートセンターについて

操作でお困りの際はサポートセンターへご連絡ください

サポートセンター専用ダイヤル（通話料無料）

0120-987-571 受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00（土日祝日を除く）

E-Mail：mp-support@cyber-l.co.jp

